

第2回

再生可能エネルギーと スマートコミュニティ研究会 研 究 進 捗 報 告

平成24年8月23日

目 次

1. 研究会（今後の予定）	1
2. 第 1 回グループヒアリング.....	1
2.1 目的.....	1
2.2 目標.....	1
2.3 本年度のグループヒアリングの手順.....	2
2.4 グループヒアリング時以外の対応	4
2.5 第 1 回グループヒアリングの結果報告	4
2.5.1 自治体シートと施策抽出表.....	4
2.5.2 ヒアリング内容.....	4
2.6 第 2 回グループヒアリングの日程予告	4
3. 東京 62 市区町村アンケートの結果速報.....	5
3.1 アンケートの目的	5
3.2 実施要領.....	5
3.3 結果概要（速報）	7
3.4 今後の作業予定	7
3.5 集計結果.....	8
4. 見学会	12
4.1 見学会の行程.....	12

1. 研究会（今後の予定）

研究会（今回を入れて、4回）の日程は、表 1.1 の通りである。

なお、見学会については、第 4 章で説明する。

表 1.1 第 2 回研究会以降の今後の予定

研究会	テーマ	日時	場所
第 2 回研究会	自治体としての取組みを学ぶ	平成 24 年 8 月 23 日（木） 13：30～16：00	東京区政会館 35 教室
見学会	福岡県北九州市へのスマート コミュニティ見学	平成 24 年 9 月 20 日（木） ～21 日（金）	北九州市
第 3 回研究会	取組姿勢（方向性の判断、考 え方）を学ぶ	平成 24 年 11 月 6 日（火） 9：30～12：00	東京区政会館 35 教室
第 4 回研究会	企業の取組みを学ぶ	平成 25 年 1 月 16 日（水） 13：30～16：30	東京区政会館 201 教室
第 5 回研究会	学識者への予算要求資料の報 告をし、スマートコミュニテ ィの向上を確認する	平成 25 年 2 月 13 日（水） 9：30～12：00	東京区政会館 201 教室

2. 第 1 回グループヒアリング

2.1 目的

グループヒアリングは、参加 20 自治体の地域特性や方向性に応じて、将来、スマートコミュニティに関連する具体的な施策と事業の形成を支援することを目的としている。

また、グループ単位で実施することで、他の自治体の取り組み等の動向を知るなど、グループ間の交流を深めることも目的である。

2.2 目標

グループヒアリングの目標は、「スマートコミュニティに関連する具体的な施策化・事業化のための予算要求資料の作成」とし、各記載項目（背景、目的、事業内容、効果、予算、スケジュール等）を段階的に作成していくこととしている（図 2.1 参照）。しかしながら、スマートコミュニティに対する取組み方が、各自治体で違うことから、予算要求資料は以下のように対応する。

- 今すぐにも推進したい自治体については、スピード感をもった対応を行う。
- ゆっくりと知識を深めてから実施を検討する自治体については、目標達成年数を延ばす等の対応を行う。
- 勉強から始めたい自治体については、予算要求資料作成シミュレーションという形をとる。

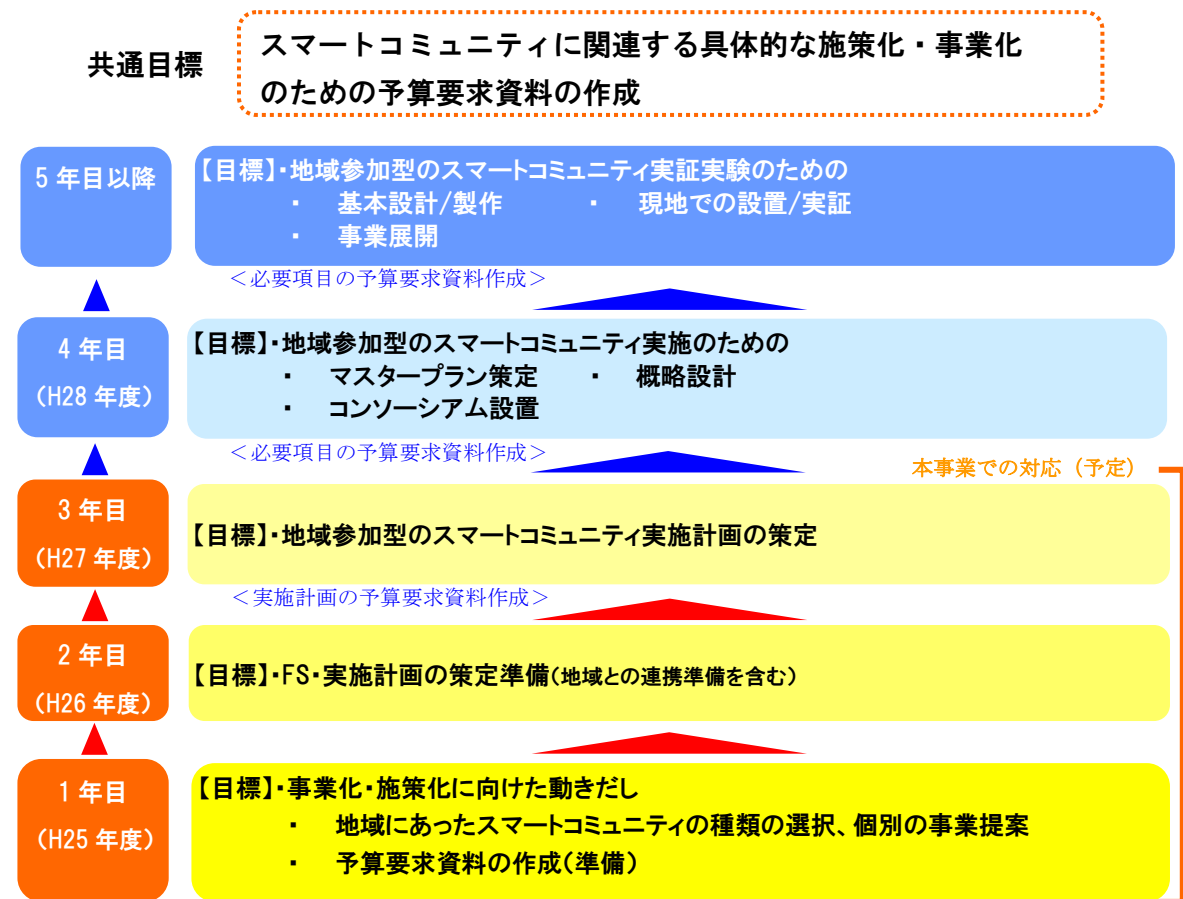


図 2.1 スマートコミュニティに関連する具体的な施策化・事業化（標準パターン）

2.3 本年度のグループヒアリングの手順

本年度のグループヒアリングは、各研究会の間の計 4 回行う（表 1.1 参照）。各段階を踏むにつれて、予算要求資料の各項目が記載され、4 回目終了時には、予算要求資料が形になるといった手法を行う（図 2.2 参照）。予算要求資料の各主項目とは、「背景」、「目的」、「事業内容」、「効果」、「予算」と「スケジュール」である。各項目で記述する内容を表 2.1 に示す。

本年度の達成

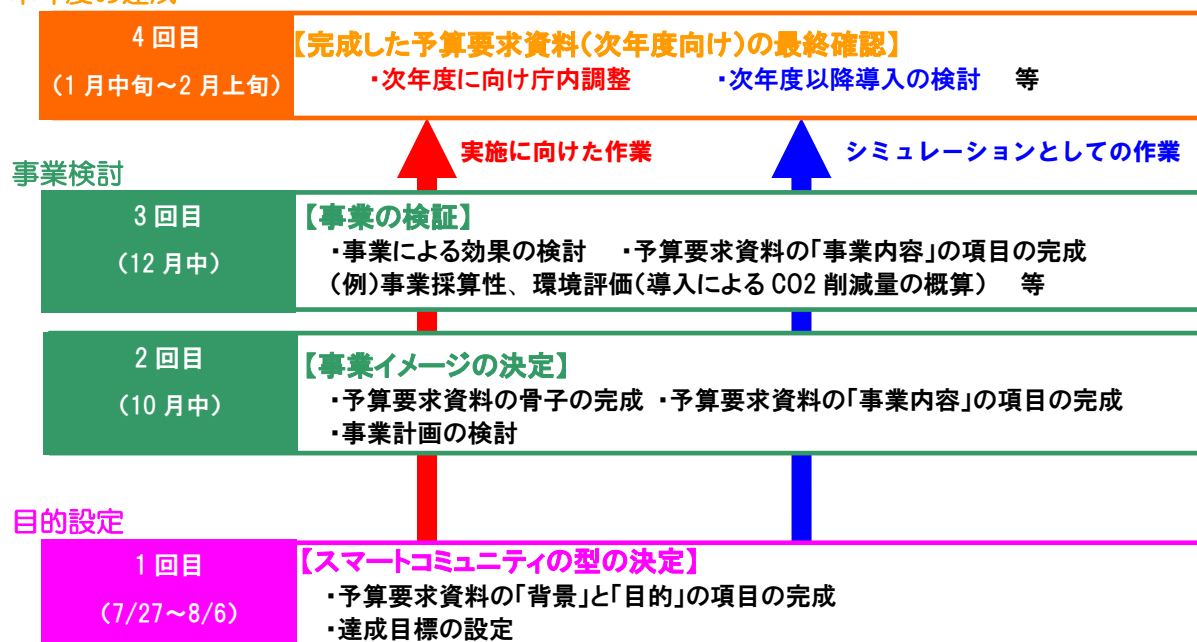


図 2.2 平成 24 年度のグループヒアリングの手順

表 2.1 予算要求資料各項目の説明

背景	地域特性（地域課題等） 部門別二酸化炭素排出量の特徴、 市（区）の既存の環境・エネルギー関連の施策
目的	5W1H（図面・スキーム図等による説明等）
事業内容	計画（コンセプトとビジョン） 具体的な取組み 推進体制
効果	直接的効果と間接的効果（波及効果を含む） 事業採算性評価 環境評価（想定される二酸化炭素削減量等の評価） デメリットとその解決策 その他（他の産業への波及効果を受けての地域活性化等）
予算	獲得可能な補助金の活用方法等
スケジュール	年間スケジュールや事業全体のスケジュール

2.4 グループヒアリング時以外の対応

各研究会の終了後に設置される個別相談会にて、グループ担当者と打合せができるようにしている。この場合、事前に各担当者と連絡をとって、調整して頂きたい。また、グループ担当者にメールや電話で個別相談ができる。

2.5 第1回グループヒアリングの結果報告

2.5.1 自治体シートと施策抽出表

自治体シートとして、参加 20 自治体の「基礎データ」、「特記」、「部門別 CO₂排出量」、「スマートコミュニティに関連する主な施策」、「課題」を一覧できるシートを作成した。「特記」とは、「スマートコミュニティ導入の切り口」という意味である。

この自治体シート作成には、施策抽出表を参照に作成している。施策抽出表は、スマートコミュニティに関連する主な施策を、総合計画、環境基本計画、都市計画マスタープラン、住宅マスタープラン等の市区の主要計画から抽出している。

これらにより、各自治体が自らの施策における「スマートコミュニティ」の位置付けを把握し、課題を認識する一助とする。

2.5.2 ヒアリング内容

上記の自治体シートと施策抽出表を参考に、参加 20 自治体に目指すべきスマートコミュニティの姿についてヒアリングを行った。

2.6 第2回グループヒアリングの日程予告

表 1.1 より、第2回グループヒアリングは、9月と10月の間で調整する。後日、各担当者より、連絡し、日時と打合せ場所を決定する。

3. 東京 62 市区町村アンケートの結果速報

3.1 アンケートの目的

東京 62 市区町村を対象に、スマートコミュニティに関する認知度や取組状況等を把握する「アンケート」を実施する。これにより、東京 62 市区町村の現況（初期状況）を把握し、研究会や個別コンサルティングの実施方針に反映することで、本事業が参加者にとって等しく実りのあるものとなることを目的とする。

本事業開始時における東京 62 市区町村の初期状況の把握



- ・ 参加者の知識や求める学習内容に応じた研究会の開催
- ・ 参加 20 自治体の地域特性や課題に応じた個別コンサルティングの実施
- ・ 本事業の効果把握（3 年後に同じ調査を行い、その結果と比較）

3.2 実施要領

アンケートの実施要領は、表 3.1 に示すとおりである。

表 3.1 アンケートの実施要領

項目	内容
目的	・ 本事業開始時における東京 62 市区町村の認知度・取組み状況等の把握
対象	・ 東京 62 市区町村
方法	・ 調査票のメール送付／回収
実施時期	・ 7 月 18 日（水）から 8 月 3 日（金）
回収状況	・ 95.2% （59 自治体／62 自治体） ※8/22 15 時現在
報告の方法等	・ 第 2 回研究会に速報の報告 ・ 東京 62 市区町村に集計結果を報告 ・ 研究会 HP に集計結果を掲載（研究会終了後の 9 月以降）

3.3 結果概要（速報）

(1) スマートコミュニティに関する認知度（設問①より）

- ・言葉の認知度は約 96%に上り、言葉はほぼ浸透している。また、大凡の内容についても把握しているとの回答は 70%を超えた。
- ・言葉と内容をともに十分知っていると答えたのは 4 自治体のみである。（特別区 2、市町村 2）
- ・導入事例の認知度については、資料収集や報道による知識段階が多く、具体的な事例の見学等の経験があると答えたのは 1 自治体のみである。（市町村 1）

(2) スマートコミュニティ導入に向けた取組みの状況（設問②より）

- ・最も多かったのは、取組み予定が無いとの回答であった。
- ・具体的な取組みあるいは検討を開始しているのは、全体の 22%の 13 自治体であった。（特別区 8、市町村 5）
- ・計画への位置づけを行っているのは 3 自治体（特別区 2、市町村 1）であり、位置づけを予定あるいは検討しているものも含めると全 11 自治体であった（特別区 6、市町村 5）。
- ・多くの自治体においては、スマートコミュニティの取組みには関心があり、本研究会を含む情報を幅広く収集している段階にあると言える。

(3) スマートコミュニティにより解決を期待する地域課題（設問③より）

- ・住宅やオフィス等の民生部門におけるエネルギー効率化、庁舎や病院等におけるエネルギー自立化へのニーズが特に高い。
- ・回答を頂いている島嶼部のすべての町村において、島嶼全体におけるエネルギー自立化のニーズが望まれている。

(4) スマートコミュニティに関する取組みを行う上での障壁（設問④より）

- ・知識や経験、人材、予算が主な障壁と考えられている。
- ・特別区と市町村ではほぼ同様のことを障壁と考えている。

(5) 本事業への期待（設問⑤より）

- ・施策や事例に関する情報提供のニーズが高い。（国・都・他自治体の取組動向、導入事例等）
- ・個別相談や製品情報の提供など、より具体的な情報を求める支援内容に対するニーズは現段階で相対的に低い。

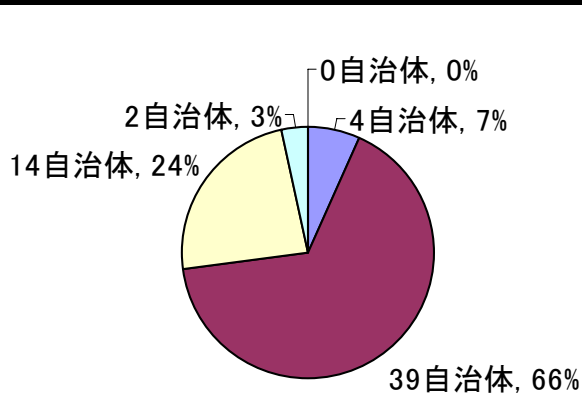
3.4 今後の作業予定

- ・より詳細な属性別のクロス集計。地域分布や自然的社会的条件に基づく傾向分析。
- ・自治体の特性に応じた効果的な支援方法の整理。個別コンサルティングへの反映。

3.5 集計結果

設問① (1)

あなたは、スマートコミュニティを知っていますか？



〈その他〉
なし

凡例	選択肢	%	自治体
■	a 言葉を知っている。内容も十分に知っている。	6.8%	4
■	b 言葉を知っている。内容はなんとなくイメージできる。	66.1%	39
■	c 言葉は知っているが、内容は分からない。	23.7%	14
■	d 言葉を聞いたことがない。内容も知らない。	3.4%	2
■	e その他	0%	0

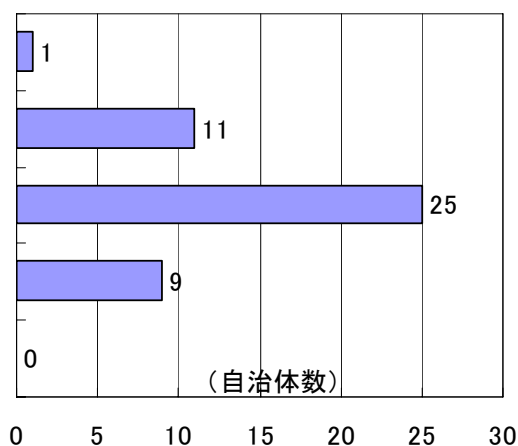
設問① (2)

(1) で a または b を選んだ方のみ回答してください。

具体的な導入事例を知っていますか？

(複数回答可：3 つまで)

- a 知っている。導入事例を視察したことがある。
- b 知っている。導入事例の研究・情報収集をしたことがある。
- c 知っている。新聞等で見たり聞いたりしたことがある。
- d 具体的な事例は知らない。
- e その他



〈a〉 視察をした具体的な場所

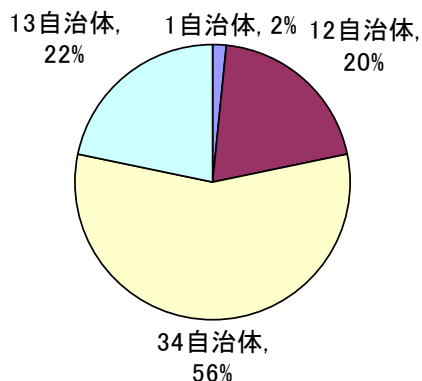
宮古島 (予定)

〈e〉 その他

なし

設問② (1)

貴自治体では、すでにスマートコミュニティの導入に向けた施策を開始していますか？



凡例	選択肢	%	自治体
	a すでにスマートコミュニティの導入に係る施策を開始している。	1.7%	1
	b スマートコミュニティの導入に係る施策化に向けての検討を開始している。	20.0%	12
	c 取り組む予定はない。	55.7%	34
	d その他	21.7%	13

〈a〉 具体的な施策名

なし

〈e〉 その他

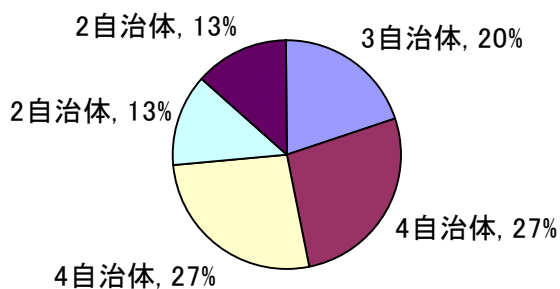
- ・勉強会等の実施 知識の習得
- ・導入に係る施策化に向けての検討を予定している。
- ・単体での導入も不十分な状態であり、スマートコミュニティは調査段階である。
- ・取り組むかどうかの検討をするにあたって、情報収集をしている。
- ・先進事例等について研究をしていく
- ・現時点で取り組む予定はないが、施策を講じるか検討する余地は大いにある。
- ・研究は行なっているが、実施対象や具体的な施策に結びつけることが現状では困難である。
- ・現在、情報を収集中です。
- ・再生可能エネルギーとスマートコミュニティ研究会へ参加している
- ・検討段階に至っていない。
- ・未定

設問② (2)

(1) で a または b を選んだ方のみ回答してください。

その取組は、貴自治体の何らかの計画等に施策として位置づけられていますか？

検討中も含めて該当する場合は、可能な範囲で、計画名及び策定年（予定を含む）をご回答下さい。



凡例	選択肢	%	自治体
	a すでに計画に位置づけている。	20.0%	3
	b 計画への位置づけを予定している。	26.7%	4
	c 計画への位置づけを検討中である。	26.7%	4
	d 計画に位置づける予定はない。	13.3%	2
	e その他	13.3%	2

〈a〉 具体的な計画名

なし

〈b〉 具体的な計画名

- ・地域別のまちづくりガイドライン（24年度内）
- ・伊豆大島スマートアイランド構想（平成25年）

〈c〉 具体的な計画名

なし

〈e〉 その他

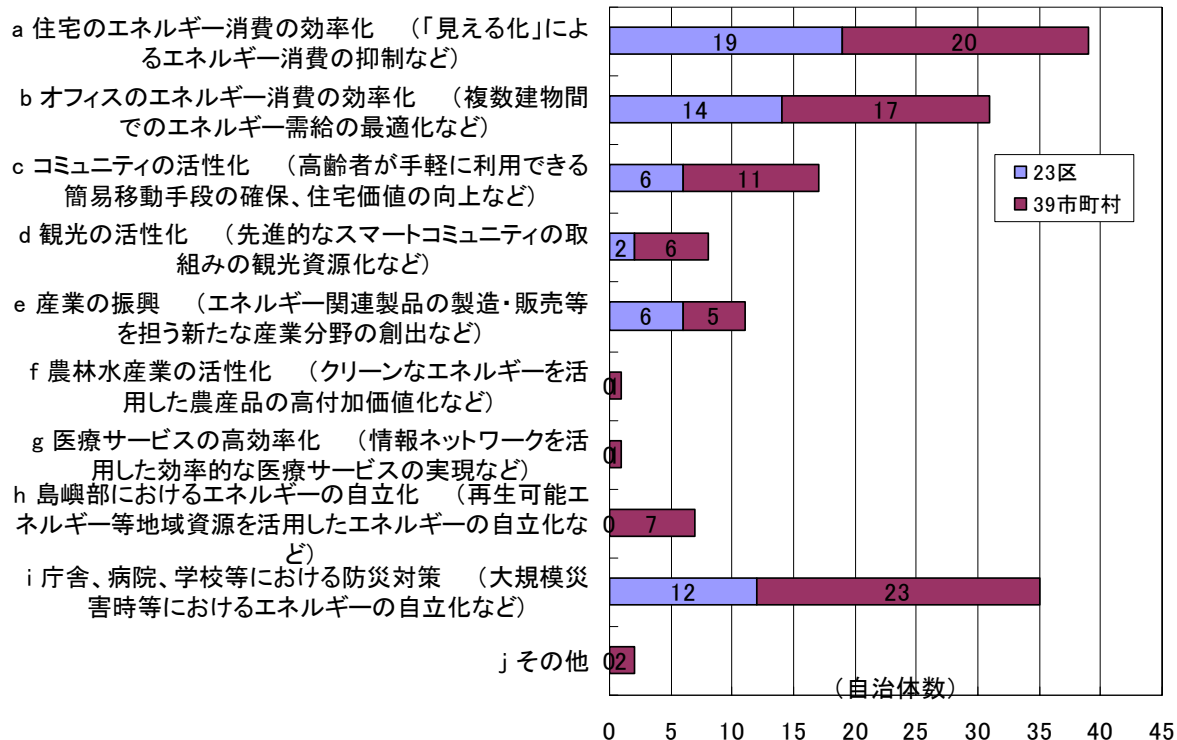
- ・スマートコミュニティとしてではなく、温暖化対策等の取組として区の複数計画に位置付けている。
- ・実際行う場合は計画に位置付けると思うが、具体的な計画は決まっていない。

設問③

スマートコミュニティの導入に、どのような地域の課題解決を望みますか？

(現時点で導入の見通しが立たない場合でも、「希望」としてご回答下さい)

(複数回答可：3つまで)

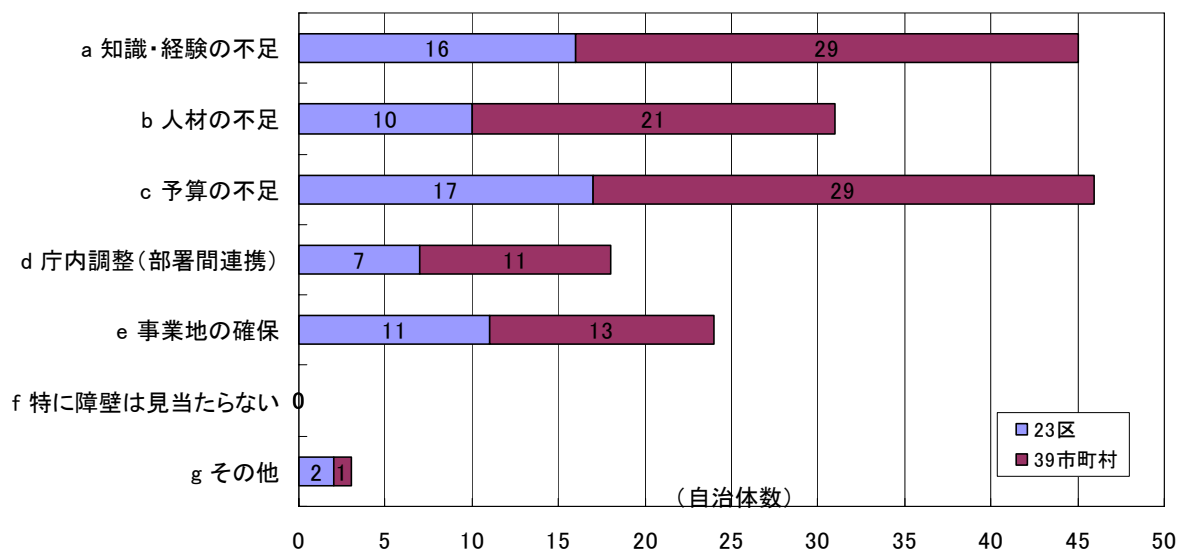


(i) その他

- ・ 使用エネルギー削減とともに、業務量、コスト削減が図れると良い。
- ・ 地球温暖化対策の推進

設問④

スマートコミュニティの導入に取り組むにあたり、貴自治体の「障壁」となる事項はありますか？
(複数回答可：3 つまで)

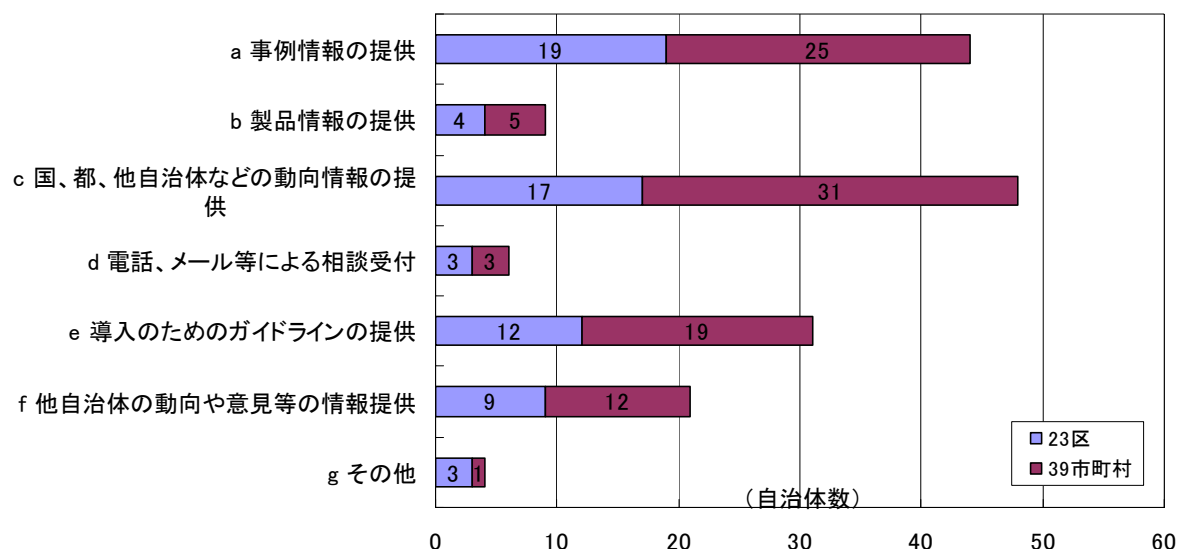


〈g〉 その他

- ・ 国の事業補助との連携、事業者間調整
- ・ 地域住民や事業に参画する企業等のステークホルダー間の連携・調整
- ・ スマートコミュニティが、平成 26 年度まで経済産業省における実証実験段階であること。

設問⑤

本事業（再生可能エネルギーとスマートコミュニティ研究）に期待することは何ですか？
(複数回答可：3 つまで)



〈g〉 その他

- ・ 事業の組み立て（自治体の関与スキームの提案）
- ・ 具体的な施策化に対するアドバイス
- ・ 中立的な立場での事業性検討などの技術的な支援
- ・ エネルギー削減の効果やコスト等を含めた内容案の提示、助言

4. 見学会

4.1 見学会の行程

見学会の行程を以下に示す。

表 4.1 見学会行程（概要）

項目	内容
日程	平成 24 年 9 月 20 日（木）～9 月 21 日（金）
場所	北九州市（主に八幡東田地区）
プログラム （イメージ）	一日目 午前 移動（東京→北九州市） 午後 北九州市職員との意見交換（北九州市役所） 二日目 午前 現地見学①（八幡東田地区※） 午後 現地見学②（東田エコクラブ活動見学） 移動（北九州市→東京）

※ 参加自治体からのご要望が多かった「コミュニティサイクル見学・関係者による活動紹介」を現地見学先の一つとして組み込んでいる。